

科目名	社会学							学期	前期
副題	家族の今昔				授業方法	講義	担当者	森本一彦	
ナンバリング	G1-11-141	実務経験の有無	無	関連DP	1, 4	単位数	2	他	—

授業の目的と概要

家族という枠組みに注目しながら、現代家族と伝統家族を比較する。家族が現在置かれている状況を歴史的な経緯を視野に入れながら理解することを目指す。具体的には、家族をめぐるいくつかのトピックスを取り上げ講義を行う。

授業の到達目標

家族を中心とした現代の社会問題を歴史社会学の視点から検討し、相対化することを通して、大学教育で必要とされる基礎的な考え方を修得する。

授業計画

1. 「家族」は当たり前か？①
2. 「家族」は当たり前か？②
3. 人口と家族①現在
4. 人口と家族②過去
5. 結婚・離婚①現在
6. 結婚・離婚②過去
7. 子どもと家族①現在
8. 子どもと家族②過去
9. 老人と家族①現在
10. 老人と家族②過去
11. 先祖祭祀と家族①現在
12. 先祖祭祀と家族②過去
13. 労働と家族①現在
14. 労働と家族②過去
15. 家族を相対化する

準備学習(予習・復習)・時間

毎回の授業で学修したテーマやキーワードについて理解し、覚えておくこと (90分)。

テキスト

プリントを配布する。

参考書・参考資料等

西野理子・米村千代『よくわかる家族社会学』(ミネルヴァ書房、2019年)、森本一彦『先祖祭祀と家の確立』(ミネルヴァ書房、2006年)、その他授業中に紹介する。

学生に対する評価

定期試験 (70%)、授業中の小テストおよびコミュニケーションカード (30%)

ルーブリック(目標に準拠した評価)

- (C) 授業で説明した基礎用語を知っている。
- (B) 授業で説明した家族事象を説明できる。
- (A) 授業で説明した家族事象を社会的に相対化して説明できる。
- (S) 授業で説明した家族事象をもとに自分の意見を言うことができる。

課題に対するフィードバックの方法

小レポートやコミュニケーションカードを提出するので、次の授業でフィードバックする。

その他

・人間学科の2019年度入学生以降は、基礎科目として人間学科の学生は全員必修であるので、必ず履修すること。・社会福祉主事任用資格の科目である。・日ごろからニュースや新聞などに触れ、時事問題に興味を持ち、今何が起きているのかを確認しておくこと。